ペダルを踏むだけで簡単洗浄＆らくらく脱水！

ー快転らくらくモップー
Let’s Spin

TI-5001DBK 取扱説明書

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、
内容をご確認の上、正しく安全にご使用ください。
本書はお使いになる方がいつでも確認できる場所に
大切に保管してください。

本製品の特徴

●洗浄バケツ内でモップを洗ってすぐに脱水できます。
●モップヘッドを脱水かごに入れ、
　ペダルを踏むだけで簡単に脱水できます。
●モップの洗浄・脱水のための力も時間も大幅に節約できます。

※品質向上の為、製品のデザイン、仕様は予告なく変更となる場合がございます。
　あらかじめご了承ください。

目次

■安全上のご注意…… P1
■お手入れ方法…… P2
■セット内容と各部名称…… P2
■モップの組み立て方…… P3
■回転ペダルが上手く作動しない時は… P3
■ご使用方法…… P4
■モップを伸縮させる時は…… P4
■モップヘッドを外す時は…… P4

商品に関するお問い合わせは

発売元
トータル・アイ株式会社
愛知県名古屋市中区錦1-7-26 錦MJビル5F

カスタマーサポート
tel.052-265-5763
平日（月～金曜）午前10：00～午後5：30

⚠ 安全上のご注意 ～ご使用の前に必ず下記の警告・注意をご確認の上、お守りください。～

⚠ 警告
下記の警告を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

●本製品を火気・暖房器具のそばなどの高温の場所で使用しないでください。火災ややけどの危険、製品の破損・変形・変色の恐れがあります。
●本製品を通電中の電化製品や電源コンセントのそばで使用しないでください。感電ややけどの危険、火災や製品の破損・変形・変色の恐れがあります。
●本製品には脱水かごや回転ペダル、モップなど可動する部分があります。お子様が触れて挟まれる・巻き込まれるなどのけがをしないよう、十分ご注意ください。
●モップを洗浄・脱水する際は、絶対にハンドルフック（ハンドル上部の穴）に指を入れたまま回転ペダルを踏まないでください。ハンドルフックは回転し、ハンドルは回転しないため、ハンドルフックに指を入れたままモップを回転させると、指や手、腕が巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。
●脱水かごは、本製品付属のモップの脱水以外の目的で使用しないでください。
●脱水かごの回転時は、絶対に脱水かごや回転ペダル部分に触れないでください。特にお子様やペットをそばに近づけないよう、十分にご注意ください。

⚠ 注意
下記の注意を無視して誤った取扱をすると、人がけがをしたり、物的な損害が発生する恐れがある内容を示しています。

●本製品は屋内用清掃用品です。本来の用途以外のご使用はしないでください。
●事故防止のため、お子様の手の届かない場所に保管してください。
●本製品は必ず平らな場所に置いて使用してください。洗浄バケツが滑ったり転倒しないよう十分にご注意ください。
●本製品を移動する時は、引きずらないでください。本体や床に傷がつく恐れがあります。
●回転ペダルを強く踏まないでください。洗浄バケツの転倒やペダルの破損の恐れがあります。
●回転ペダルを踏む際は、スリッパなどの履物を履いて踏んでください。素足・靴下履きのみの場合、指や布地を挟まれたり巻き込まれたりする恐れがあります。
●モップの洗浄・脱水をする際は、必ず回転グリップ（モップ中央部の握り部分）を握ってください。モップ上部のハンドル・ハンドルフックには触れないでください。
●モップヘッドを装着する際は、必ずモップパネルにカチッと音がするまでしっかり固定し、外れないことを確認してからご使用ください。
●モップを使用する時は必ず伸縮パイプ部がロックされている（反時計回りに動かなくなるまでひねられている）か確認してください。ロックされていない状態で使用するとご使用中に急に縮んだりして大変危険です。
●モップに体重をかけたり、もたれかかったり、物を載せたりしないでください。
●モップヘッドに固いゴミ・ガラス片・金属片などの異物が付着したまま使用すると、本体や床に傷がつく恐れがあります。安全に注意して取り除いてください。
●金属部の劣化・材質の変質を避けるため、以下の事項をお守りください。
　・水分・油分・洗剤などが付着した際は必ず拭きとる
　・洗浄バケツ、脱水かご、モップにシールやテープなどを貼らない
　・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所に保管しない
●本製品の分解・改造・修理はしないでください。製品の動作に不具合がある場合は、お買い上げの販売店または上記カスタマーサポートへご連絡ください。

製品および梱包材を破棄される際は、お住まいの自治体の規則に従ってください。

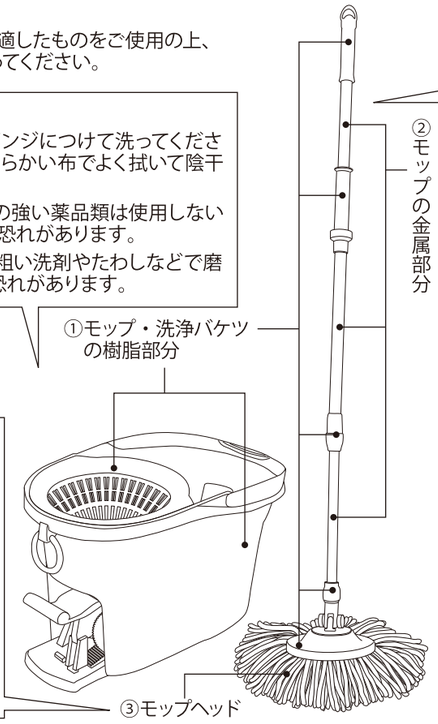
お手入れ方法

下記お手入れ方法をご確認ください。
洗剤・洗浄剤をご使用の際は、各部分に適したものをご使用の上、肌荒れ、かぶれに注意してお手入れを行ってください。

①モップ・洗浄バケツの樹脂部分
●薄めた中性洗剤を柔らかい布やスポンジにつけて洗ってください。水で洗い流した後は、乾いた柔らかい布でよく拭いて陰干ししてください。
●アルコール、ベンジン、漂白剤などの強い薬品類は使用しないでください。材質の変質・変色等の恐れがあります。
●クレンザー（みがき粉）等の粒子の粗い洗剤やたわしなどで磨かないでください。材質に傷がつく恐れがあります。

②モップの金属部分
●薄めた家具用洗剤をつけた柔らかい布で拭いてください。水分や洗剤が表面に残らないよう、よく水気を絞った柔らかい布で二度拭きしてください。
●アルコール、ベンジン、漂白剤などの強い薬品類は使用しないでください。材質の変質・変色等の恐れがあります。
●クレンザー（みがき粉）等の粒子の粗い洗剤やたわしなどで磨かないでください。材質に傷がつく恐れがあります。

③モップヘッド
●ご使用後は本製品の洗浄バケツで汚れを落としてから脱水かごで脱水し、陰干しでよく乾かしてください。
●洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。樹脂部分の破損・変形の恐れがあります。
●汚れが落ちにくい場合は、薄めた洗濯用洗剤で手洗いしてください。
●油汚れなど落ちにくい汚れは台所用洗剤を多めに使用して、ぬるま湯で揉み洗いしてください。



セット内容と各部名称

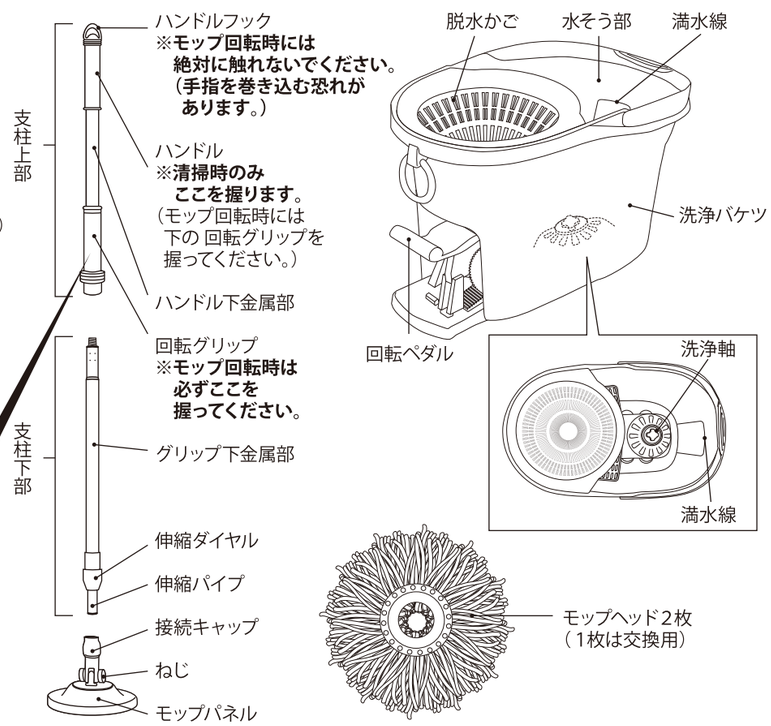
●セット内容
・支柱上部 ×1
・支柱下部 ×1
・モップパネル ×1
・モップヘッド ×2枚
・洗浄バケツ
・取扱説明書（本書）

●製品サイズ（約）
・モップ：
　幅 40× 奥行 40× 高さ 102 ～ 131cm（伸縮）
　ハンドルグリップ直径 2.7cm
　モップパネル直径 16.7cm
・洗浄バケツ：
　幅 52× 奥行 29× 高さ 29ｃｍ
　容量 5.4 リットル

●材質
・モップ：
　樹脂（ポリプロピレン）、
　金属（ステンレス）、
　マイクロファイバー
・洗浄バケツ：
　樹脂（ポリプロピレン、ナイロン）

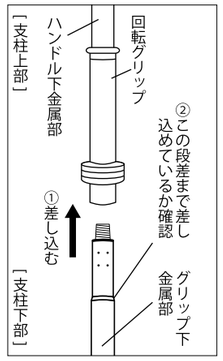
●生産国：中国

⚠ 警告
モップヘッドの洗浄、脱水は必ず回転グリップを握って行ってください。
回転グリップ以外の個所に触れないでください。特にハンドルフックに指を入れたりしないようご注意ください。



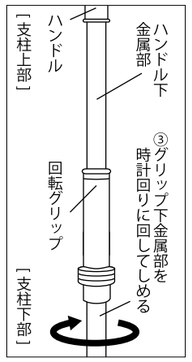
モップの組み立て方

1. 支柱上部と支柱下部を接続します。

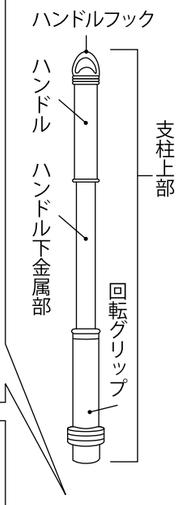


①支柱上部の「ハンドル下金属部」と支柱下部の「グリップ下金属部」をそれぞれ握り、支柱下部を支柱上部へ差し込みます。

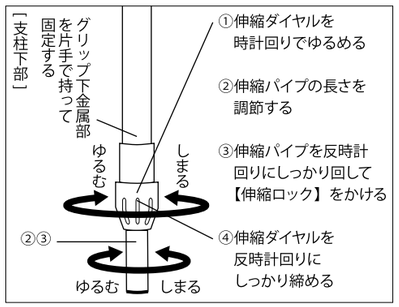
②支柱上部の端が、支柱下部の段差まで届いていることを確認してください。

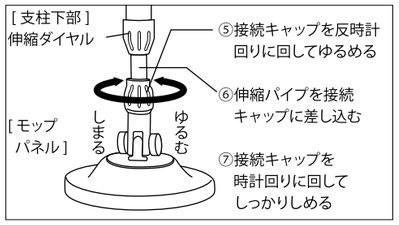


③それぞれの金属部分を握ったまま、「グリップ下金属部」を時計回りに動かなくなるまで回してしめます。



2. 支柱下部とモップパネルを接続します。





①支柱下部の「グリップ下金属部」を片手で持ち、その下の「伸縮ダイヤル」を時計回りに回してゆるめます。

②「グリップ下金属部」を持ったまま、もう片方の手でその下の「伸縮パイプ」をお好みの長さまで伸ばします。（伸縮ができない場合は時計回りに回してください。）

③「伸縮パイプ」を反時計回りに回して、しっかりと【伸縮ロック】をかけます。（伸縮パイプを手で強く押し引きしても動かなくなければロック完了です。）

④伸縮ダイヤルを反時計回りに回して動かなくなるまでしめます。

⚠ 注意

伸縮パイプに【伸縮ロック】をしっかりかけてから「伸縮ダイヤル」をしめてください。伸縮ロックがかかっていない状態でご使用になると、伸縮パイプが急に縮む恐れがあり、大変危険です。

⑤モップパネルを床の上などに片手で固定し、その上の「接続キャップ」を反時計回りに回してゆるめます。

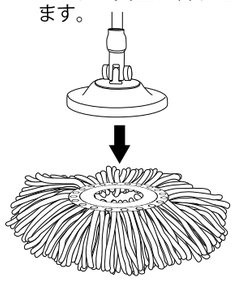
⑥支柱下部の「伸縮パイプ」を⑤の接続キャップにしっかり差し込みます。

⑦接続キャップを時計回りに回して動かなくなるまでしっかりしめます。

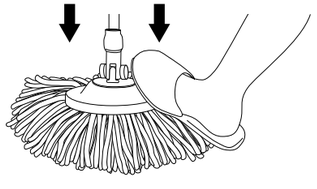
ここまでの組み立てで、支柱の接続部、伸縮部にゆるみやぐらつきがないか確認してください。

3. モップパネルにモップヘッドを取り付けます。

①モップパネルをモップヘッドの真上に合わせます。



②モップパネルを踏み込みます。支柱を挟んで対角線上に、「カチッ」と音がして外れなくなるまで踏み込みます。

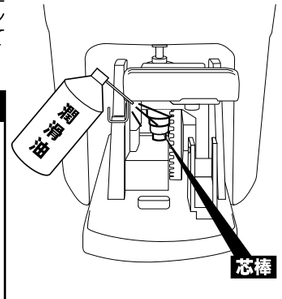


⚠ 注意

- モップパネルとモップヘッドの間に房が挟まらないようご注意ください。
- モップパネルを踏む際には、スリッパなどの履物を履いて踏んでください。
- 強く踏みすぎないようご注意ください。

回転ペダルが上手く作動しない時は

回転ペダルの動きが重い、または空回りする時は、回転ペダルの下、奥部にある芯棒に沿って潤滑油を注してください。



⚠ 注意

- 潤滑油の注し過ぎにご注意ください。
- それでも改善しない場合は、販売店または1ページ掲載の発売元カスタマーサポートへご連絡ください。

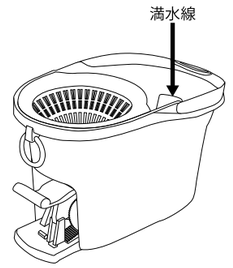
※分解・改造は絶対に行わないでください。

ご使用方法　⚠ 警告 モップの回転時（洗浄・脱水時）は、必ずモップの「回転グリップ」を握ってください。

1. 洗浄バケツの水そう部に水を入れます。

⚠ 注意

水そう部内側の「満水線」を超えて水を入れないでください。
満水線以上の水を入れると、モップヘッドを洗浄する際、水があふれるおそれがあります。



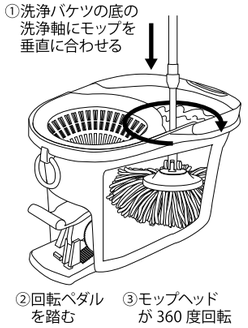
2. モップヘッドを水に浸けて洗浄します。

※洗浄軸の回転を使用して洗浄する場合は、必ずモップの「回転グリップ」を握り、支柱を垂直に立ててください。

①モップの「回転グリップ」を握り、支柱を垂直に立てた状態で、モップヘッドの裏側の凹みを、水そう部底面の洗浄軸にはめこみます。

②回転ペダルを踏んでください。

③モップが 360 度回転し、汚れを落とします。

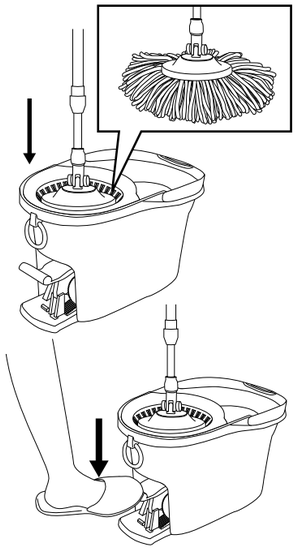


3. モップの「回転グリップ」を握って支柱を垂直に立て、モップヘッドを 回転かごの下部半分まで押し入れ、回転ペダルを踏んで脱水します。

①モップの「回転グリップ」を握り、支柱を垂直に立てた状態でモップヘッドを脱水かごの下部半分まで押し入れます。

②回転ペダルを踏んで脱水かごを回転させ、モップヘッドの水を切ります。

③回転ペダルを10 回程度踏んでモップヘッドが充分脱水されていることを確認してから、清掃にご使用ください。



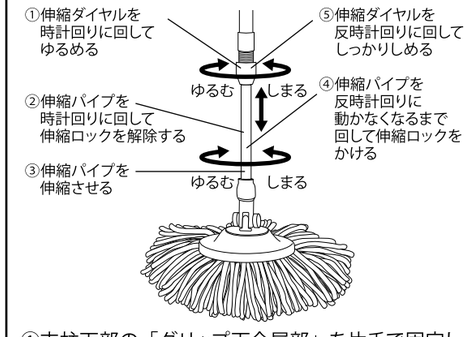
⚠ 注意

- 支柱が垂直になっていないと、モップヘッドがスムーズに回転しません。
- モップヘッドの房は全て脱水かごに入れてください。房がはみ出していると、回転が悪くなったり、水が飛び散る恐れがあります。
- モップヘッドの入れ方が不十分な場合、上手く脱水できない場合があります。
- 脱水が充分でない場合は、再度強めに回転ペダルを踏み、脱水状態をご確認ください。

⚠ 警告

- ●最初はペダルをゆっくりと踏み、回転の度合いを見ながら強さを調節してください。
- ●回転ペダルを勢いよく踏みすぎると洗浄バケツが転倒したり、水しぶきが飛び散る恐れがあります。
- ●脱水・洗浄の際は必ず回転グリップを握って行ってください。

モップを伸縮させる時は



①支柱下部の「グリップ下金属部」を片手で固定し、もう片方の手で「伸縮ダイヤル」を時計回りに回してゆるめます。

②「グリップ下金属部」を固定したまま、「伸縮パイプ」を時計回りに回し、【伸縮ロック】を解除します。

③「伸縮パイプ」を好みの長さに調節します。

④「伸縮パイプ」を反時計回りに動かなくなるまで回し、【伸縮ロック】をかけます。

⑤「伸縮ダイヤル」を反時計回りに動かなくなるまで回してしめます。

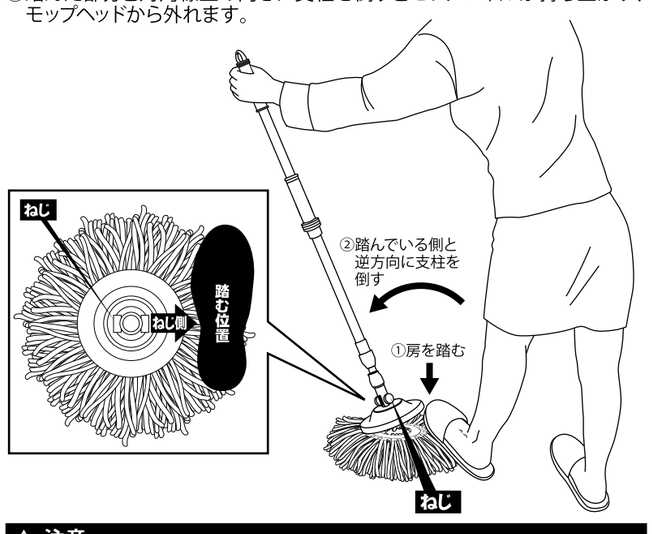
⚠ 注意

伸縮パイプに【伸縮ロック】をしっかりかけてから「伸縮ダイヤル」をしめてください。伸縮ロックがかかっていない状態でご使用になると、伸縮パイプが急に縮む恐れがあり、大変危険です。

モップヘッドを外す時は

①支柱を垂直に立て、モップパネルのねじに対して足の側面が直角に対するようにモップヘッドの房を踏みます。

②踏んだ部分と対角線上の向きに支柱を倒すとモップパネルが持ち上がり、モップヘッドから外れます。



⚠ 注意

房を踏む際、モップパネルを踏まないようにご注意ください。モップパネルを踏んだ状態で支柱を倒すと、破損やけがの恐れがあります。